

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター

琵琶湖水質担当

平成13年5月7日

第6報

## 植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	6500		
(黄鞭) <i>Dinobryon bavaricum</i>	180		
(黄鞭) <i>Chromulina sp.</i>	40		
(珪) <i>Melosira varians</i>	30		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	40		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	230		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	7		
(珪) <i>Synedra acus</i>	40		
(渦) <i>Peridinium berolinense</i>	10		
(渦) <i>Peridinium berolinense var. apiculatum</i>	10		
(渦) <i>Peridinium penardiforme</i>	30		
(褐) <i>Cryptomonas sp.</i>	200		
(褐) <i>Rhodomonas sp.</i>	80		
(緑) <i>Chlamydomonas sp.</i>	10		
(緑) <i>Mougeotia sp.</i>	12		
(緑) <i>Closterium aciculare var. subpronum</i>	5		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum var. ornatum</i>	5		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	6720	90.5	64.5
(珪) 珪藻綱	347	4.7	8.2
(渦) 渦鞭毛藻綱	50	0.7	1.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	280	3.8	10.4
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	32	0.4	15.8
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	7429	総体積	3.39E+06
種類数	17	( $\mu\text{m}^3$ )	

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし\*印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は \*が第1優占種、 が第2優占種

数字は各綱ごとの占有率(単位:%)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から

試験的に推定した概算値である。

## 動物プランクトン

第 1 優 占 種	個体数 (個体/l)
輪虫類 <i>Polyarthra vulgaris</i>	160

第 2 優 占 種	個体数 (個体/l)
輪虫類 <i>Kellicottia longispina</i>	120

\* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

### 植物プランクトン第1優占種

#### *Uroglena americana*

(ウログレナ)  
黄色鞭毛藻類

楕円形の細胞が球状の寒天質の表層に規則正しく配列し、球状の群体を形成する。各細胞は不等長の2本の鞭毛を有する。



### 動物プランクトン第1優占種

#### *Polyarthra vulgaris*

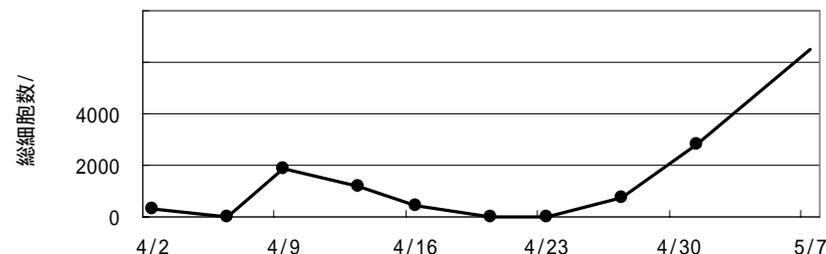
(ハネウデワムシ)  
輪虫類

体は四角く、横に鳥の羽状の付属物が4ヶ所付いている。前部に2本の触角がある。



コメント:

植物プランクトンはウログレナ アメリカーナが増加し、大きな細胞数となった。4月はじめからのウログレナ細胞数の変動は図のようになり、4月27日以降増加し続けている。



平成13年4月からのウログレナ総細胞数の変動